

背景に目を向ける

太田市立太田中学校 二年 野口 美結

ニュースではよく犯罪や非行に関する出来事が報道され、ほぼ毎日のように耳にします。そのたびに私は、「なぜこのようなことを起こしてしまうのだろうか」と疑問に思います。私はずっと犯罪や非行は罪を犯した人だけが悪いと考えていました。しかし、ただ悪いと決めつけるだけでは解決できなかったり、解決できてものちに再び罪を起こしてしまうことを知りました。また、犯罪や非行は決して許されることではありません。しかし、そのような行動をしてしまうのにはその背景に様々な事情や環境が大きく関わっているのではないかと考えるようになりました。

私たちがニュースなどで知ることのできる犯罪や非行は起きてしまった出来事の一部であり、その人がどのような環境にいたのか、どのような悩みを抱えていたのかということとはわからないことが多いです。つまり、犯罪

や非行を起こした人を悪いとするだけではなく、その人が置かれていた環境にも目を向ける必要があると思います。例えば、家庭で安心して過ごすことができなかったり、悩みを相談できる人がいなかったりすると、一人で苦しみを抱えてしまうことがあるかもしれません。また、学校でいじめや仲間はずれにされていたり、周りの人から悪い誘いを受けたりすることで、孤独を感じたり間違った方向へ進んでしまう可能性もあります。そして、

罪を犯してしまった人の背景にある問題を解決しなければ、また同じようなことが繰り返されてしまうことがあると思います。実際に一度罪を犯してしまった人のうち、二人に一人が再び罪を犯してしまっているそうです。

では、犯罪や非行を防ぐためには、私たちには何ができるのでしょうか。私は、まず身近な人との関わりを大切にすることが必要だと思っています。例えば、悩みを抱えている人がいたら、優しく声をかけたり、話を聞いてあ

げたりすることです。自分にとっては何気ない一言でも、悩んでいる人にとってはその一言が大きな支えになるかもしれません。また、一人でいる人や困っている人を見かけたときに、見て見ぬふりをせず寄り添ってあげることも大切だと思います。誰か信頼できる人がいれば、悩みを一人で抱え込まずにすむかもしれないかもしれません。私たち一人ひとりが相手の気持ちを考え、思いやりを持って接することで孤独を感じる人を減らすことができると思います。

犯罪や非行をゼロにすることは難しいですが身近な人を大切にし、互いに支え合うことから始められると思います。私たち中学生でも学校生活などでできることがいくつかあると思います。例えば、いじめや仲間はずれをしないことです。誰かを傷つけるような言葉や行動は、その人を孤独な気持ちにさせてしまうことがあると思います。だから私は、相手の気持ちを常に考えるようにして、お互いを認め合いながら友達と関わっていきたいです。

学校生活だけでなく、社会の中でこのような行動を一人ひとりが大切にすること、犯罪や非行につながるような孤独や悩みを減らすことができると思います。また、これは一度犯罪をしてしまった人がしっかり責任を果たし、もう一度社会の中で生活するためにも大切なことだと思います。周りの人たちが受け入れ支えることで、再び同じ過ちを繰り返すことを防ぐことができると思います。

このように犯罪や非行をなくすために私たちができる事は、決して大きなことではありません。周りの人を大切にしたり相手の気持ちを考えるなど、身近なことから始めることができます。一人ひとりの行動や思いやりが広がれば、やがて大きな力になるはずです。私自身も生活の中で意識しながら、誰もが安心して過ごせる明るい社会を目指していきたいです。